

# 放課後等デイサービス自己評価表 (事業者向け)

株式会社 ニューズ  
実施月：2026年1月  
調査人数：6名

## キッズ・あいびい～V

公表：2025年2月

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	/	/	
	2	職員の配置数は適切であるか	6	/	/	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	/	2	4	
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	2	/	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	/	/	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	/	/	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	/	/	6	
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1	/	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1	/	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1	/	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1	/	
	12	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	5	1	/	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	/	5	1	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	2	/	
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	/	2	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	4	1	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	1	/	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	/	1	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5	1	/		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	1		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子ども下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等との連絡体制を整えているか		1	5	
	23	就学前に利用していた保育園や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	1	1	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		2	4	
	25	児童発達支援センターや発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1	1	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		4	2	
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		1	5	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共有理解を持っているか	5		1	
保護者への説明責任	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		2	4	
	30	運営規定、支援の内容、利用者負担額等について丁寧な説明を行っているか	5	1		
	31	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	1		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		2	4	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	1		
	35	個人情報に十分注意しているか	6			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	1		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		5	1	
非常時の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	1		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			
	40	虐待防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	1		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画等に記載しているか	4	2		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	1		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5		1	

## 放課後等デイサービス自己評価表（事業者向け）

事業所名	キッズ・あいびい～V
------	------------

### 各項目の意見と改善目標

【② 職員の配置数は適切であるか。】

- ・法規上の基準を順守しています。その上で利用者の特性や配慮に合わせて人員配置などを決めています。

【③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。】

- ・現在バリアフリーが必要な利用者の受付を行っておりません。

【⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。】

- ・法規上第三者の外部評価は任意のため、弊事業所では行っていません。

【⑫ 活動プログラムが固定化しないように工夫しているか。】

- ・利用者の希望や能力に合わせて実施しています。会話やジェスチャーなどコミュニケーションが相互に取れる場合は利用者の意見も取り入れて決定しています。

【⑯ 支援終了後には、職員間で打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか。】

- ・必要な時に実施、概ねは朝のミーティングで行っています。
- ・連絡事項や申し送りなどは、休みの職員にも周知できるよう業務日誌やホワイトボードを活用して情報を共有しています。

【⑳ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子ども下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか】

- ・基本的には学校→保護者→事業所で連絡調整を行っています。学校側、保護者側との合意が取れる場合は保護者を通さず学校→事業所で行う事もあります。

【㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等との連絡体制を整えているか】

- ・現在医療的ケアが必要な利用者はおりません。また受け入れも今の所は行っていません。

【㉓ 就学前に利用していた各種園や児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか。】

- ・主に保護者と間で情報共有しております。必要がある場合は連携協力し情報共有と相談を行っております。

【㉔ デイサービスから障害福祉サービス（就労等）へ移行する場合、それまでの支援内容の情報を提供しているか。】

- ・就労側や保護者側からの希望があれば情報提供や、また実際に利用している際の見学などを行いその場で質疑応答するなどの形を取っています。

【㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。】

- ・イベント時（餅つきや芋ほり、外出活動など）に接する機会はあるが、クラブや児童館との交流の機会はあまりない。

【㉗ （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。】

- ・業務状況により参加を決めています。

【㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか】

- ・現在ペアレントトレーニングなどは行っておりません。保護者の方から要請があれば相談を承り支援を行っております。